

### Ⅲ-1.技術協力

	案件名	スキーム	概要	長期専門家	短期専門家	研修員	伯関係機関	協力期間	プロジェクトサイト
実施中案件									
1	強靱な街作りのための土砂災害対策能力向上プロジェクト	技術協カプロジェクト	ブラジリア連邦区、リオデジャネイロ州、サンタカタリーナ州 砂防技術基準に基づいた砂防事業が展開に向けて、砂防技術基準の策定を目指す。このため、砂防構造物の特性、施設配置計画、施工管理、維持管理方法の理解、砂防構造物の設計、施工管理、維持管理にかかる技術マニュアルの作成と普及、パイロット地域における砂防ダムの試行建設等を行う。	1名(チーフアドバイザー)	2-4名/年	2-3名/年	地域開発省(協力機関として関連州市防災局他)	2021/7-2026/7	ブラジリア連邦区、リオデジャネイロ州
2	先進的レーザー衛星及びAI技術を用いたブラジリアマゾンにおける違法森林伐採管理改善プロジェクト	技術協カプロジェクト	ブラジル法定アマゾンにおける森林伐採の検知及び予測を通じた違法伐採に係る対策・管理能力の強化にむけて、戦略的な違法伐採対策・取り締まりに関する助言を提供する能力の強化、リモートセンシング及び空間情報のデータベースを活用した違法森林伐採取り締まり優先地域を特定する基準の策定、AIを活用した改良森林伐採予測システムの運用及びIBAMA内及びIBAMAと森林伐採データに関わる関係機関との情報共有体制強化を通じた森林伐採管理及び取り締まりの効率改善をめざす。	1名(リモートセンシング/業務調整員)	7名/2022年 4名/2023年	10名/2023年	ブラジル環境・再生可能天然資源院(IBAMA)	2021/7-2026/6	ブラジリア連邦区、法定アマゾン
3	アグリフードチェーンにおけるイノベーション・エコシステム及び持続可能性強化のための精密・デジタル農業共創プロジェクト	技術協カプロジェクト	世界的な人口増加に伴うブラジル国内の農地拡大と、アマゾン熱帯雨林の保全・持続的な利活用の両立に向け、デジタルテクノロジーを活用して高効率かつ環境負荷を抑えた次世代型農業、スマートアグリビジネスの開発を目指す。このため、農業ビッグデータ基盤整備への技術指導、持続可能なアグリテック開発のための概念実証支援等を行うことで、日伯間の技術・人材交流を加速させ、農業セクターによるアマゾン熱帯雨林への質的・面的な開発圧力の低減に寄与する。	未定	5名/2023年8月迄	未定	ブラジル農牧研究公社(Embrapa)	2021/4-2026/3	ブラジリア連邦区、サンパウロ州、マトグロソ州、パラ州。
4	持続可能な都市開発能力強化プロジェクト	技術協カプロジェクト	クリチバ都市計画研究所(IPPUC)を実施期間とした、スマートかつ持続可能な都市発展に向けて日本の防災および高齢化社会に関する都市政策とスマートなソリューションの適用を目指す技術協力。日本及び世界からの知見と教訓を確認しつつ、クリチバ市に適用可能な政策を策定する。	なし	なし	6-8名/年	クリチバ都市計画研究所(IPPUC)	2022/2-2024/2	パラナ州クリチバ市
5	新型コロナウイルス感染症にかかるゲノム・モニタリング・ネットワーク強化プロジェクト	技術協カプロジェクト	感染症関連ゲノムのモニタリング体制の整備、日伯共同研究の実施、及びゲノム情報の活用にかかる日伯間での知見の共有により、COVID-19及び他の感染症に対する、効果的かつ迅速性の高いゲノム・モニタリング・ネットワークの確立を図り、もってブラジル国全体のCOVID-19及び世界的流行を引き起こす可能性のある感染症に対する、持続可能性かつ迅速性の高いゲノム・モニタリング・ネットワークの強化に寄与する。	1名(業務調整員)	2-3名/年	1-2名/年	オズワルドクルス財団(FIOCRUZ)	2023/4-2028/3(予定)	アマゾニア州、バイーア州、セアラ州、ベルナンブコ州、リオデジャネイロ州